

新築移転時に Webex で安全な患者移送を実施 無線 LAN の強化により患者 Wi-Fi も整備



製品 & サービス

- ・ シスコ 無線 LAN ソリューション
- ・ Webex Devices (Room Kit Plus ほか)
- ・ Webex Meetings アカウント

課題

- ・ ネットワーク分離との兼ね合いで無線 LAN 利用が限定的、患者 Wi-Fi サービスが提供できない
- ・ 従来のビデオ会議機器が老朽化、回線と接続先が固定のため利便性が低い

ソリューション

- ・ シスコ無線 LAN ソリューションで外来、入院患者用 Wi-Fi サービスを提供開始
- ・ ビデオ会議プラットフォームに Webex を採用し利便性を向上
- ・ Webex によるビデオコミュニケーションを移転時の患者移送にも活用

結果～今後

- ・ COVID-19 対応や採用面接にも Webex を活用
- ・ 今後、旧棟でも同様にネットワークの改修および無線 LAN の強化を予定
- ・ 新旧の 2 病棟間での会議や打ち合わせでさらに Webex を積極的に活用

白十字病院は 1982 年の開設以来、福岡市西部地区の地域に根ざした中核病院として急性期から回復期、慢性期、在宅までの一貫した医療・介護を提供しています。開設 40 年目を迎えた 2021 年 4 月 1 日、同院は従来のケアミックス型病院を 2 つに分院し、約 300m 南側に急性期病院として新築移転。シスコの無線 LAN および Webex コラボレーション ソリューションの活用により、多職種協働、チーム医療の強化と患者サービス向上を目指しています。

**多職種協働とチーム医療の強化に加えて
地域医療との連携やオンライン診療、職員の働き方改革の視点からも、
ICT とデジタル活用は欠かせない取り組みです。**

—— 社会医療法人財団白十字会 白十字病院 病院長 瀧野 泰秀 氏

白十字病院は福岡市西部地区の地域医療支援病院として、急性期医療を行う白十字病院、回復期医療を行う白十字リハビリテーション病院、そして在宅事業部で維持期の在宅医療をシームレスに提供できる強みを持ちます。3 つの事業所が協働、全職員が一丸となって超高齢化社会を支える医療、介護サービスに取り組んでいます。

課題

病院長の瀧野泰秀氏は、今回の分院の目的を次のように話します。「開設から 40 年が経過し、施設としての老朽化が進んでいました。また従来の 466 床のケアミックス型の医療提供が時代にそぐわなくなったこともあり、新築棟を 282 床の急性期に特化した白十字病院、従来の建屋を回復と慢性期に特化した 160 床の白十字リハビリテーション病院とに分院独立することとしました。白十字病院が地域医療支援病院として担うべき役割は高度専門医療、救急医療、在宅療養後方支援、そして地域のまちづくりと多岐にわたります。当院がこれらの役割を果たしていくためには多職種協働でチーム医療を強化し、職員一人ひとりがお互いの専門性、職能をプロとして尊重しながら、より安全で質の高い医療を追求していく姿勢が求められます。加えて地域医療との連携やオンライン診療、職員のタスクシフトや働き方改革の視点からも、ICT とデジタル活用は欠かせない取り組みとなっています。」



社会医療法人財団白十字会
白十字病院
病院長
刈野 泰秀 氏



社会医療法人財団白十字会
医療情報本部
システム開発室 主任
兼 福岡事務局 福岡建築管理室
村上 真一 氏



社会医療法人財団白十字会
白十字病院
看護部次長
金子 まりこ 氏

同院ではこの機会に内線通話とナースコールを従来の PHS からスマートフォンに移行するとともに、かねてから懸案であった無線 LAN の強化に取り組みました。医療情報本部 システム開発室 主任の村上真一氏は、この背景を次のように話します。「従来から無線 LAN を利用していましたが、病院特有のネットワーク分離との兼ね合いで利用は限定的で、患者さんへの Wi-Fi サービス提供は行っていませんでした。内線通話とナースコールをスマートフォン化して帯域強化の必要があることと、患者さんから Wi-Fi 利用要望が多く寄せられていたことから、新棟建設にあたり無線 LAN 機能を強化することとなりました。当院は透析やリハビリなど長時間にわたる治療を行う外来の方も多く、また入院患者さんもスマートフォンやタブレットを利用される機会が増えていますので、コストを抑えての配備と安全かつシンプルに利用、運用管理できる無線 LAN ソリューションを求めています。」

もう 1 つの課題が、ビデオコミュニケーションの充実です。同院ではかねてから他社のビデオ会議システムを用いて、長崎県佐世保市の白十字会佐世保中央病院、白十字会耀光リハビリテーション病院と当院の 3 拠点間で遠隔での講演会や勉強会、打ち合わせなどを行っていましたが、機器の老朽化に加えて場所に縛られ柔軟に開催しにくいという課題がありました。刈野病院長は「移動の時間を減らし患者さんに向き合う時間を増やすためにも、遠隔でのビデオコミュニケーションのさらなる充実が求められていました。」と話します。

同院ではこれらの課題を解消すべく、シスコ ソリューションの採用に踏み切りました。

移転を機に無線 LAN と ビデオコミュニケーションの強化を目指し、 シスコ ソリューションを採用しました

ソリューション

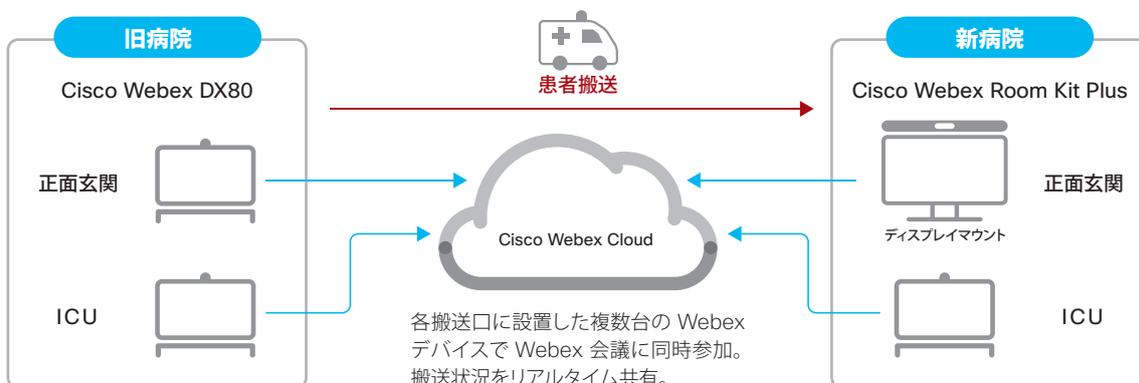
シスコ無線 LAN ソリューションで外来、入院患者用 Wi-Fi サービスの提供を開始

新棟ではシスコの無線 LAN ソリューションを活用し、職員向けの帯域強化とともに、新たに外来と入院の患者向け Wi-Fi サービス提供を開始しました。「これまでネットワーク分離との兼ね合いで用途ごとのアクセスポイントを設置するのはコストの面から難しく、限定的な利用にとどまっていた。今回、シスコの無線 LAN ソリューションを活用することで 1 台のアクセスポイントで、内線スマートフォン用、医療機器用、業務用インターネットなど複数の通信提供を安全かつシンプルに実現できました。職員が医療システムにアクセスする回線と自由に使える Wi-Fi、そして外来患者さん用の期限付きフリー Wi-Fi と入院患者さん用の Wi-Fi サービスです。安全を考慮して職員用を先に公開し、電子カルテなどへの影響がないことを確認してから、少し時期をずらして患者さん用 Wi-Fi をスタートさせましたが、トラブルもなく、安定稼働しています。」

ビデオ会議プラットフォームに Webex を採用し利便性を向上

村上氏は、ビデオ会議のプラットフォームに Webex を採用した理由とその効果を次のように語ります。「従来のシステムはビデオ会議用回線が固定で、決まった会議室と接続先でしか利用ができませんでした。移転後はネットワーク回線を新たに設計し直し、院内の情報コンセントに Webex デバイスをつなげば、どこでもビデオ会議が行えるようになり利便性が向上しました。帯域の負荷分散の仕組みも取り入れています。」

Webex によるビデオコミュニケーションが移転時の患者移送で活躍



Webex によるビデオコミュニケーションが移転時の患者移送でも活躍

同院では移転時の患者搬送プロジェクトにも Webex を活用しました。看護部次長の金子まりこ氏は「当日は旧棟と新棟の正面玄関、救急外来など 5 ヶ所に Webex デバイスを設置し、オンラインの生中継で状況を見ながら、互いに声かけを行いながら 157 名の患者さんを移送しました。当初はトランシーバーや電話などで連絡する案もありましたが、それでは 1 対 1 のやり取りになり、音声だけですと状況が把握しづらい懸念がありました。画質も鮮明な Webex デバイスで映像を見ながらだと周囲の状況がリアルタイムに把握でき、移送が順調なのか混雑しているのかが一目でわかります。患者さんの到着や受け入れの様子もわざわざ報告しなくても全員が把握でき、非常に安全で効率的でした。コロナ禍での移送は緊張感がありましたが、Webex の画面があったから成功したと思います。」

結果～今後

Webex デバイスは、ガラスで区切られた新型コロナウイルス感染症患者対応を行う専用ゾーンと一般エリアとのスタッフ間のコミュニケーション用途や、県外への移動が制限されている学生を対象としたオンライン採用面接にも活用されているとのこと。澁野病院長は「将来的には、入院患者さんとご家族との面会や、遠方にお住まいのご家族への病状や手術で説明などにも活用したい。」と期待を語ります。

村上氏は「今後、旧棟についても同様にネットワークの改修および無線 LAN の強化を実施し、2 つの病院間での会議や打ち合わせなどでさらに Webex を積極的に活用していきたい。」と話します。

社会医療法人財団 白十字会 白十字病院



所在地 福岡県福岡市西区石丸 4 丁目 3-1
病院長 洲野泰秀
職員数 967 人
※2021 年 4 月 1 日入職者は除く
病床数 282 床
主な指定 社会医療法人 / 基幹型臨床研修病院
救急告示病院 / 地域医療支援病院
へき地医療拠点病院 / 開放型病院
病院機能評価認定 (3rdG:Ver.2.0)
URL <https://www.fukuoka.hakujyujikai.or.jp>

福岡市西区の白十字病院、白十字リハビリテーション病院では「患者さんが一日も早く社会に復帰されることを願います」の基本理念のもと、二次救急病院として医療体制も充実し、急性期医療からリハビリ、介護施設から在宅医療まで、幅広い医療・福祉サービスを提供しています。

最後に洲野病院長に、医療現場における ICT 利活用とデジタル化、そしてシスコへの期待について語っていただきました。「当院はこれからさらに機能分担と役割分担、そして連携を強化し、同時に人力を少しでも省力化するための ICT 利活用とデジタル化を推進し、より安全で質の高い医療を追求していきます。あらゆる業務で従来の紙ベースから、データを共有する必要性が高まり、1 対 1 のやり取りではなく医療介護間、そして地域との連携が進むでしょう。高齢化が進む社会の中で在宅医療での患者さんの見守りやオンライン診療など、ICT は欠かせません。シスコには引き続き、医療現場を支えるソリューションの提供に期待しています。」

その他の詳細情報

シスコ医療業界向けソリューションの詳細は、

https://www.cisco.com/c/ja_jp/solutions/industries/healthcare.html を参照してください。

シスコ コンタクトセンター

自社導入をご検討されているお客様へのお問い合わせ窓口です。

製品に関して | サービスに関して | 各種キャンペーンに関して | お見積依頼 | 一般的なご質問

お問い合わせ先

お電話での問い合わせ

平日10:00-12:00, 13:00-17:00

0120-092-255

お問い合わせウェブフォーム

cisco.com/jp/go/vdc_callback



©2021 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco, Cisco Systems, およびCisco Systemsロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の国における商標登録または商標です。本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。「パートナー」または「partner」という用語の使用はCiscoと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1502R) この資料の記載内容は2021年8月現在のものです。この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>